

BB 通信

5月 vol.07



×



3年生はBBでの集大成の大会が迫っています。事前準備を行っていきましょう。学年問わず選手・保護者の全員で緊張感ある試合を楽しめればと思っています。1年生は早すぎる公式戦がスタートします。この時期は結果よりも野球を楽しむこと、チャレンジすることが大切です。

「～南花台ボーイズ設立の思い～」

コーチ 久富 恵介

各支部予選前、監督と私のミーティングはメンバーを決めることから始まります。

下級生の頃は支部主催（阪南大会、さわやか大会）の大会は堺ビッグボーイズA, B, Cと複数のチームが大会に参加できますが、全国大会の予選は1チームのみの参加が決まっています。

昨年から選手登録25名、当日ベンチ入り20名と規定が変わりました。（以前まではベンチ入り20名のみ）秋、春、夏の予選、本選はチームのベストメンバーを組んで挑んでいます。その中で下級生がベンチ入り、試合出場することもあります。

メンバー発表当日、（特に夏の大会）ベンチに入れずその場で涙を流す選手、うつむく選手がいます。当然悔しい思いをしていると思います。それだけ必死に取組んできた選手ならなおさらです。現時点では体が小さく力が及ばない、体は大きいが出し方が分からない、今はレギュラーではなくても通常練習はもちろん平日練習も欠かさず参加している選手もいます。私は常にそういう選手の行動を見ています。13歳～15歳の中学生ですが素直に尊敬します。

「できることなら3年生全選手をベンチに入れて戦いたい」スタッフ全員が思っています。

予選当日、メンバーから外れた3年生が下級生の前に立って大きな声で声援を送っています。試合中にその光景をベンチからを見て目頭が熱くなることがあります。日頃から選手には「チームメイトのために行動しよう」と話していますが、大人でも中々できることではありません。

すでに皆さんはご存じだと思いますが、そういった思いの中この度「南花台ボーイズ/フューチャーズ」を設立しました。

6月の予選から試合出場します。堺ビッグボーイズの試合も南花台フューチャーズの試合もチーム全員で応援を行います。楽しみが一つ増えました。

3年生の選手、保護者の方にとって、6月の予選は堺ビッグボーイズでの集大成の大会になります。勝った、負けたは時の運、チーム全体で思い出に残る大会にしましょう！！

南花台フューチャーズ（公式戦出場チーム名：南花台ボーイズ）

『堺ビッグボーイズを選んだ理由は??』

5月5日、快晴の空の下で52名+小学生3名の新入部員歓迎会を執り行うことができました。お手伝い・ご準備いただいた多くの方々に改めて感謝申し上げます。

中学生と小学生合わせて55名の選手たちの自己紹介で、それぞれが堺ビッグボーイズを選んでくれた理由を話してくれました。

もちろん、それぞれが感じていること、思っていることですので、何が正解で何が良い答えということは一切ないと思います。

その中で、『このチームだと野球が楽しくできると思ったから!』、『練習が楽しそうだなと思ったから!』、『体験でもいろんな競技をして楽しかったから!』という思いを話してくれる選手たちが多くいたのが印象的でした。

保護者の方の挨拶も、『小学生の時より野球を楽しそうにしている!』、『グラウンドに行くのが楽しいと言って家を出ていく!』ということをおっしゃっている方もいらっしゃいました。

『野球が楽しい! おもしろい!』これは自分自身が子どもたちと接する時に一番大切にしたいと考えていることです。残念ながら、世界各国の子どもたちに比べて日本の子どもたちは野球を楽しめていないように思えます。『打たなきゃいけない』、『抑えなきゃいけない』、『エラーしてはいけない』、うまくプレーできなければ怒られる…。日本では指導者も保護者も小さい頃から鍛えて結果を残しておかないといけないと思込んでいます。でも、実は子供の頃に好き勝手に野球を楽しんでいる国の選手たちが、世界最高峰のメジャーリーグでたくさん活躍しています。

将来活躍するためには確かに技術も必要、体力も必要かもしれませんが、でもそれ以前に何よりも大切なのは『野球が楽しい! 好き!』という心なのではないかなとも思います。

結果を急がず、詰め込み過ぎず、彼らがもっともっと野球を好きになれる環境をこれからも作っていきなさいと思います。小さな胸に大きな希望を持って入部してくれた選手たちと共に、もっともっと野球を楽しんでいきましょう!

コーチ 阪長 友仁

「OBの声」

みなさんお待たせしました。30期生主将の高曾魁佑です。今、僕は高校で野球を続けていますが、ビッグの考えとまったく方針が違うので苦戦しています。

ビッグでは練習試合では必ず全員が試合に出場させてもらい楽しく野球ができていましたが、今は試合中に怒鳴られたり、エラーしたら即交代させられるなど、戸惑うことも多くあります。しかし、ビッグで学んだ一番印象に残っている言葉が「何事も継続すること」なので今はどのように対応するか思考中です。この続きは次項でお知らせします。

最後にみなさん、ビッグでは夏休みにアメリカ遠征に行きます。僕は初めは行くつもりなかったのですが、父に進められて行くことになりました。アメリカと日本の文化、野球の考え方の違いを感じました。とても貴重な体験をすることができました。是非、みなさんも行って感じてきてください。では、また次号をお楽しみに。

■高曾 魁佑君 30期生主将(現今宮高校1年生) 当時、主将を決めるアンケートを行っていましたが、高曾君、なんと0票でした!!「彼なら楽しいチームにしてくれるだろう」とスタッフ間で決定しました。試合中のミーティングは監督より長いです。試合中のミーティングで「元気ですか〜?」と大声で言ったこともあります。レギュラー選手ではありませんでしたが、持ち前の明るさでチームを引っ張ってくれ、昨年夏の全国大会では堂々の選手宣誓も行いました。将来の夢は『大金持ちになること』入部から卒部まで変わることはありませんでした。記録よりも記憶に残る男、高曾魁佑。(次号の出演はリクエストしていません…。さすが高曾主将)

2015年4月 堺BB小学部設立

小・中一貫指導開始

子供達の可能性を最大限引き出す!

堺ビッグボーイズから世界に羽ばく人材を輩出します!

皆様、広報にご協力下さい。

詳しくは、お気軽に久富コーチまで!!

BB塾

無料体験実施中!

個別指導: 10,000円/月~

場所: プロスペクト株式会社 3F

お問い合わせ: TEL 070-1218-8753

お気軽に岩井までお声掛けください!

